

新進音楽家の若き才能の輝きを見つけ
人材の育成とクラシック音楽の啓発を目的とするコンクール

第24回

コンセール・マロニエ21

Concert. 21 Maronnier 21

音楽コンクール

対象部門 金管楽器

本選



第20回第1位 田村優弥

2019年

10月12日(土) 13:00開場・13:30開演
17:00結果発表・表彰式(予定)

宇都宮市文化会館 大ホール

※栃木県総合文化センター大規模改修のため、会場を移して開催します。

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

台風19号の影響により日程・会場を改めて開催します

2020年2月29日(土) 13:00開場 13:30開演 17:00表彰式(予定)

栃木県総合文化センター リハーサル室

コンセール・マロニエ21

祝 辞

栃木県知事 福田 富一



「第24回コンセール・マロニエ21」の本選が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

「コンセール・マロニエ21」は、21世紀を担う若き演奏家を発掘し、今後の活躍を奨励することを目的とするもので、今年で24回目の開催となりました。全国から豊かな才能あふれる新進音楽家の皆様を、ここ「とちぎ」の地にお迎えできることは大きな喜びであり、日頃の御努力と素晴らしい演奏に心から敬意を表します。

また、栃木県が全国に誇る文化事業である本コンクールを主催する公益財団法人とちぎ未来づくり財団の皆様、並びに快く審査をお引き受けいただいた審査員長の沼野雄司先生をはじめ、わが国音楽界の第一線で御活躍される審査員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本県では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、本県文化の更なる振興と地域の活性化を図るために策定した「とちぎ版文化プログラム」において“文化の担い手育成”を基本施策に位置付けて各種施策を積極的に展開しているところであります。全国から多くの参加者を得て開催する本コンクールは、正に、次代のクラシック音楽界を担う人材を育成するものであり、大変意義のあるものと考えております。

本日御参加いただいた皆様には、本コンクールを契機として更に研鑽を積み、日本はもちろん、世界で活躍するトップアーティストとして、再びこの「とちぎ」の地で演奏していただけることを心から期待しております。

結びに、貴財団の益々の御発展並びに本日御出場の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

コンセール・マロニエ21 審査員長

音楽評論家

沼野雄司



コンクールとは何でしょうか。

もちろんひとつの答えがあるわけではないのですが、審査員長という重責を担うようになってから、折にふれてこのことを考えています。おそらく、「まだ若く無名の音楽家が世に出るきっかけ」というあたりが最大公約数的な答えになるのでしょうか。実際、コンクールでの上位入賞を機に、キャリアがスタートしたという音楽家は、枚挙に暇がありません。

しかし、私はむしろ他の側面を強調したいと思っています。簡単にいえば、コンクールは、他者との触れ合いの場であるがゆえに、意義を持つと考えているのです。

音楽家を志す人ならば誰でも、毎日の研鑽を欠かさないでしょうし、学生ならば週に1回はレッスンがあるはずです。しかし、いつの間にか、こうした日々の練習やレッスンといった要素がひとつのサークル(環)を形成し、内側に向けて堅く閉じてしまうこともあるのではないのでしょうか。これに風穴を開けて、さらに幅広い視野を得るためには、たとえば留学という手が有効です。全く違った文化の中に自分を置くことによって、ブレイクスルーを図るわけですね。しかし、誰もが簡単に外国に留学できるわけではありません。

奇妙な表現のようですが、私は、コンクールは一種の留学のようなものだと考えています。たったひとり、舞台の上で自分の音楽を奏でて、価値観の異なる審査員を説得しなければいけない。いわばコンクールのステージは、徒手空拳で立ち向かう「外国」のようなものです。時として、それは大変に辛いことでもあります。考えの異なる他者との出会いは、さまざまな形で、人間の意識と精神を更新することでしょう。これこそがコンクールの意義ではないかと思うのです。その意味で、結果は二義的なものに他なりません。

今年、栃木県に「留学」してきたコンテストの皆さんは、どんな音楽を聞かせてくれるのでしょうか。心から楽しみにしています。

末筆になりますが、この企画にかかわるすべての方々に深く感謝して、挨拶を終えたいと思います。



演奏曲目・出場者プロフィール

チューバ

田村 相円



Soen Tamura

K.ベンデレッキ作曲 無伴奏チューバのためのカプリッチョ
E.ボザ作曲 コンチェルティノー

1997年米テキサス州生まれ。

山口市立小郡中学校を経て、就実高等学校を卒業。

チューバを池田幸広、佐藤和彦、近藤陽一の各氏に師事。室内楽を齋藤充、安東京平、井手詩朗、阿部磨、André Henryの各氏に師事。またØystein Baadsvik、Justin Benavidez、Matteo Magli、David Zambonの各氏に指導を受ける。

第48回、第50回岡山学生音楽コンクール1位、第17回日本ジュニア管打楽器コンクール銀賞、第36回日本管打楽器コンクール入選、第4回JETA学生ソロコンクール3位受賞。

現在国立音楽大学にて特別給費奨学生として4年次在学中。

伴奏：大川 香織

トランペット

武藤 向日葵



Himawari Muto

A.アルチュニアン作曲 トランペット協奏曲

長野県出身。

第33回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール金管部門大学生の部にて第1位を受賞。

第1回Kトランペットコンクールにて第2位を受賞。

これまでにトランペットを間間健太、上田じん、佐藤友紀、大倉滋夫、服部孝也各氏に師事。

室内楽を大倉滋夫、服部孝也各氏に師事。

マスタークラスにてヴィンセント・ベンザレラ氏のレッスンを受講。

長野県小諸高等学校音楽科を経て昭和音楽大学2年次在学中。

伴奏：神永 睦子

チューバ

芝 宏輔



Kosuke Shiba

K.ベンデレッキ作曲 無伴奏チューバのためのカプリッチョ
J.ヤコブセン作曲 チューバ・ブッフ

千葉県出身。12歳よりチューバを始める。

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

第7回秋吉台音楽コンクールチューバ部門入選。

第30回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール管楽器部門優秀賞受賞。

第31回ヤマハ管楽器新人演奏会金管楽器部門等に出演。

これまでにチューバを稲川榮一、池田幸広の各氏に師事。

ぱんだウインドオーケストラメンバー。

伴奏：大川 香織

トランペット

山川 永太郎



Eitaro Yamakawa

E.タンベルク作曲 トランペット協奏曲 作品42

青森県青森市出身。9歳よりトランペットを始める。

青森県立青森商業高等学校を経て、尚美学園大学音楽表現学科を卒業。

大学の卒業演奏会、第38回青森県新人演奏会、第34回ヤマハ管楽器新人演奏会金管部門に出演。

2018年「小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXVI」、

2019年「セイジ・オザワ松本フェスティバル：子供のための音楽会」に参加。

トランペットを内藤知裕、長谷川潤、ヒロ・野口の各氏に師事。

現在、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程生。

伴奏：下田 望

演奏曲目・出場者プロフィール

トロンボーン 岩倉 宗二郎



Sojiro Iwakura

A. ヨルゲンセン作曲 組曲 Op.22

宮崎県出身。2018年武蔵野音楽大学卒業。
平成29年度武蔵野音楽大学音楽学部新人演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会2018に出演。
2018年セイジ・オザワ松本フェスティバル：子どものための音楽会に出演。
第3回名古屋トロンボーンコンペティション第2位。
第34回練馬区新人演奏会出演者選考オーディション金管部門最優秀賞。
トロンボーンを松原正幸、佐藤一哉、桑田晃の各氏、室内楽を須山芳博氏に師事。
現在、桐朋オーケストラ・アカデミーに在籍。

伴奏：城 綾乃

ホルン 西本 葵



Aoi Nishimoto

R. シュトラウス作曲 ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調

9歳よりホルンを始める。
見真学園広島音楽高等学校を経て、東京音楽大学へ特別特待奨学生として入学。
卒業演奏会・第34回ヤマハ管楽器新人演奏会金管楽器部門へ出演。
第22回日本クラシック音楽コンクール高校の部第3位（1・2位なし）。
第27回中国ユース音楽コンクール金管楽器部門最優秀賞。
2015ジュニアソロホルンコンクール カテゴリー2 第1位。
小沢征爾音楽塾オペラプロジェクトXIV、XVIIに参加。
サボルチ・ゼンブレーニ、ヨハネス・ヒンターホルツァー、クリストフ・エス各氏のマスタークラスを受講。
これまでにホルンを佐々田裕美、宮本辰彦、水野信行の各氏に師事。

伴奏：野代 奈緒

チューバ 石丸 菜菜



Nana Ishimaru

K. ペンデレツキ作曲 無伴奏チューバのためのカプリッチョ J. ヤコブセン作曲 チューバ・ブッフ

埼玉県入間市出身。12歳よりチューバを始める。埼玉県立芸術総合高校音楽科卒業。
第9回日本ジュニア管打楽器コンクール入賞。第16回コンセル・マロニエ21金管部門入選。
第47回マルクノイキルヒェン国際器楽コンクールチューバ部門ディプロマ及び審査員特別賞受賞。
第36回日本管打楽器コンクール入選。
芸大モーニングコンサートにおいて藝大フィルハーモニアとR.V. Williamsのチューバ協奏曲を演奏。第84回読売新人演奏会に出演。学内オーディションに合格し、芸大木曜コンサート「室内楽」に金管5重奏で出演。
「未来からくる演奏家を聴く会」にて初めてのソロリサイタルを開催。
これまでにチューバを小倉貞行、池田幸広、稲川榮一、佐藤桃、杉山康人、長谷川正規、小川平祐の各氏に師事。
室内楽を、日高剛、板本浩規、稲川榮一、守山光三の各氏に師事。
東京藝術大学音楽学部を経て同大学院音楽研究科修士課程を修了。芸劇ウインドオーケストラアカデミー1期生。

伴奏：城 綾乃



審査員プロフィール

審査員長

沼野雄司



Yuji Numano / 音楽評論家

1965年東京生。東京藝術大学大学院博士課程修了。博士（音楽学）。東京音楽大学助教授を経て、現在、桐朋学園大学教授。2008年から2009年にかけてハーバード大学客員研究員。著書に『リゲティ、ベリオ、ブーレーズ 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ』『ファンダメンタルな楽曲分析入門』（いずれも音楽之友社）、『孤独な射手の肖像 E.ヴァレーズとその時代』（春秋社）、『光の雅歌 西村朗の音楽』（春秋社、共著）、『日本戦後音楽史 上・下』（平凡社、共著）、『もう一度まなびたいクラシック音楽』（西東社、共著）、『楽譜を読む本』（ヤマハミュージックメディア、共著）ほか。国内の音楽関係学会はもとより、アメリカ、香港、オランダ、リトアニア、ジョージア（グルジア）、アイルランドなど多数の国際学会で発表。また、読売新聞紙上で毎月演奏会批評、CD批評を執筆する他、サントリー音楽賞審査員、アフィニス文化財団専門委員、三井住友海上文化財団専門委員、日本芸術文化振興会専門委員などをつとめる。

第24回コンセール・マロニエ21（金管楽器部門） 応募・審査状況 (単位/名)

	計	内 訳							
		男 女		年 齢		別 (歳・平成31年4月1日現在)			
		男	女	15~17	18~21	22~24	25~27	28~30	
申 込 者	67	35	32	3	22	26	9	7	
録音審査合格者	33	17	16	0	8	15	6	4	
オーディション合格者	7	4	3	0	2	3	1	1	

『コンセール・マロニエ21』は、広く参加者を募ります(在住地・国籍は問いません)。

第25回

2020年 コンセール・マロニエ21のお知らせ

- | | |
|---|--|
| <p>I 対象 (予定) 木管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット)</p> <p>II 日程 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前審査受付 2020年 5~6 月 ●録音審査(第一次) 2020年 6 月 ●オーディション(第二次) 2020年 8 月22日(土) ●本選・表彰式 2020年10月17日(土) <p>III会場 (予定) 栃木県総合文化センターメインホール
※オーディション・本選のみ(録音審査は非公開)</p> | <p>IV表彰 第1位(副賞100万円) 第2位(副賞50万円)
第3位(副賞10万円)</p> <p>V入賞者 支 援 財団や県が主催する各種演奏会への出演機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入賞記念ガラ・コンサート ・栃木県交響楽団特別演奏会においてコンチェルトでの協演 ・ランチタイムコンサート・リサイタル ほか |
|---|--|

詳しくは、2020年3月頃発表の予定です。

●お問い合わせ●

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課

〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内

☎028(643)1010 FAX 028(643)1012

—— 栃木県は若い音楽家を支援します ——

審査員プロフィール

水野 信行



Nobuyuki Mizuno / ホルン

長野県須坂市生まれ。県立須坂高等学校在学中よりホルンを始める。
 1970～75年、ドイツ、デトモルト音楽大学に留学、研鑽を積む。
 1973年、ドイツ、ホッホシューレ音楽コンクール・ホルン部門第2位入賞。
 1983年、ロンドン王立音楽院にてアソシエート・ディプロムを取得。
 1990年、第4回グローバル音楽奨励賞受賞。
 谷中甚作、M.ツィラー、M.ヘルツェル、P.ダム、H.パウマンの各氏に師事。
 1975～80年、ドイツ、アーヘン市立歌劇場管弦楽団首席ホルン奏者、1980～2003年3月バンベルク交響楽団首席ホルン奏者を務める。
 日本ではサイトウキネン・オーケストラ(1987～2005)、水戸室内管弦楽団(1990～2007)で、長年に渡りトップ奏者として貢献。草津夏期国際音楽アカデミー・音楽祭では度重ねて講師を務め、多くのソロや室内楽演奏に参加する。
 33年間のドイツ生活に終止符を打ち、2003年4月に完全帰国。本拠地を東京へ移し、東京音楽大学教授、沖縄県立芸術大学講師、東京芸術大学講師(2004～07)を歴任、2019年度からは東京音楽大学客員教授。室内楽、ソロにと幅広い演奏活動を続けている。
 【CD】#「ホルンと弦楽アンサンブルの楽しみ」/Meister Music 社
 #「ロマンティック・ホルンムジーク」/Meister Music 社
 #「ドレスデンの思い出」/Meister Music 社
 #「ラウダーツィオ・讃美」/N&F 社

長谷川 潤



Jun Hasegawa / トランペット

13歳よりトランペットを始める。16歳よりトランペットを田宮堅二氏に師事。
 1988年桐朋学園大学を卒業後、ドイツ学術交流協会の給費留学生として、ヴェルツブルク音楽大学大学院に進み、H・エルプ氏に師事。
 1992年シュテークマンコンクール第3位入賞、1994年日本人トランペット奏者として初めてドイツ国家ソリスト資格(MEISTER DIPLOM)を得る。同年イタリア・ボルツァーノで行われた金管楽器コンクール第1位入賞。1990年、1992年、1994年のサイトウキネン・オーケストラに参加。1995年に帰国し、読売日本交響楽団に首席奏者として入団。
 読売日本交響楽団とハイドンのトランペット協奏曲、ヴィヴァルディの2本のトランペットのための協奏曲などをソロリストとして協演。
 2015年4月N響、都響、読響の首席奏者を中心に編成された金管アンサンブル「ザ・プラス・プリンシパル・ジャパン」にメンバーとして、演奏会、CD録音に参加。その活動は多岐にわたる。
 第81回(2012年)、第84回(2015年)の、日本音楽コンクールトランペット部門の審査員を務める。
 現在、読売日本交響楽団首席奏者。また、桐朋学園大学音楽学部教授として、後進の指導にもあたっている。

栗田 晃



Akira Kuwata / トロンボーン

1970年北海道出身。12歳から中学の吹奏楽部にてトロンボーンを始める。
 東海大学付属第四高等学校を経て武蔵野音楽大学入学。在学中新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。第8回日本管打楽器コンクール第2位。武蔵野音楽大学卒業後ヤマハ新人演奏会等に出演。読売日本交響楽団に首席奏者として移籍。
 第1回大阪トロンボーンコンペティションソロ部門第2位(1位なし)。コンチェルトを新日本フィル、陸上自衛隊中央音楽隊、武蔵野音楽大学、ヤマハ吹奏楽団等と共演。2015年にはクリスチャンリンドバークとデュオコンチェルトを読響と日本初演。2001、2006、2011年にリサイタルを開催。トロンボーンを山下晴生、真弓基教、神谷敏の各氏に師事。
 現在、読売日本交響楽団の他、トロンボーン・カルテット・ジバング(トロンボーン4重奏)、カスタム・プラス・クインテット(金管5重奏)、アンサンブル・タープ(トロンボーン8重奏)、トウキョウプラスシンフォニー(金管11重奏)のメンバー。各団体にてCDをリリース。また母校東海大学付属第四高等学校と共にソロCD「COLORS」をカフアレコードから、DVD「トロンボーンマスター」をブレーンミュージックからリリース。武蔵野音楽大学、桐朋学園大学の各非常勤講師。

稲川 榮一



Eiichi Inagawa / チューバ

東京芸術大学卒業後、読売日本交響楽団へ入団。
 1972～74年ベルリン音楽大学に留学。在学中より1989年の帰国までケルン市立ギョルツェニツヒオーケストラ(現ケルン・フィルハーモニー)に在籍。この間ドイツにおいてリサイタル、ドイツ放送局他による録音を行い、ビッテン現代音楽祭に出演。日本でもリサイタル、NHK-FM放送に出演、読売日本交響楽団とヴォーン＝ウィリアムズ作曲チューバ協奏曲を共演、ニッポン・シンフォニーとジョン・ウィリアムズ作曲チューバ協奏曲を本邦初演。1998年、2003年フランス・グェヴュラー国際音楽コンクール、2000/2004/2008/2012/2016年ドイツ・マルクノイキルヒェン国際音楽コンクール審査員を務める。
 1978年ケルン金管五重奏団を結成。同年ケルン市よりKammer-musiker(栄誉音楽家)の称号を贈られた。チューバを大石清、北洋、宮川暉雄、ヒロニムス・エンゲルス、ローター・ツィンケの各氏に師事。
 現在、東京芸術大学名誉教授として後進の指導にあたっている。

結果発表・表彰式

17:00～17:30 (予定) 2階レストラン 日光かなめ屋

感動の瞬間に是非あなたもお立ち会いください。

後日、栃木県総合文化センターホームページでも発表いたします。

URL <http://www.sobun-tochigi.jp/>



～コンセール・マロニエ21は若い音楽家を支援します～

2019年度開催 財団主催事業

5～6月



学校訪問演奏会
第1回(声楽) 第1位 大貫裕子
第14回(ピアノ) 第1位 小瀧俊治

6月15日



県民の日 記念イベント
上田純子ソプラノリサイタル
第21回(声楽) 第3位

9月23日



栃木県交響楽団特別演奏会



第23回(弦楽器)第1位 水野優也

これから開催される催し

11月3日



マロニエ・サウンドクリニック
高校吹奏楽部等の実技講習会

11月16日



お出かけとちの実コンサート
第21回(声楽)入選 佐藤亜理沙
旧青木家那須別邸
(観覧無料)

1月26日



フレッシュアーティストガラコンサート
今回第1位受賞者出演予定
栃木県総合文化センターリハーサル室
(入場無料 要整理券)

4月1日



宮田大チェロリサイタル
第5回(弦楽器)第1位
栃木県総合文化センターメインホール

5月17日



林真理子の劇場で愉しむ
『オペラ』なるもの
第21回(声楽)第1位 山下裕賀
同第2位 ヴィタリ・ユシュマノフ
栃木県総合文化センターメインホール

主催 公益財団法人とちぎ未来づくり財団
共催 公益財団法人うつのみや文化創造財団

後援

- 栃木県●栃木県教育委員会●下野新聞社●朝日新聞宇都宮総局
- 読売新聞宇都宮支局●毎日新聞宇都宮支局
- 産経新聞社宇都宮支局●日本経済新聞社宇都宮支局
- 東京新聞宇都宮支局●共同通信社宇都宮支局
- NHK宇都宮放送局●栃木放送●エフエム栃木●とちぎテレビ



VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ